

# JMECC 教材改訂 ～パブリックコメントの回答～

令和4年5月19日  
JMECC 検討委員会

## ○ JMECC 通常コース「指導要綱」

### 1. ページの新規追加案

コメント	現在でも、指導資格が無いままで指導者として参加し、開催報告時に実績削除となる指導者がいらっしゃることから、「JMECC 指導資格の確認」ページを組み込み、仮にディレクターチェックが漏れても自身の予習段階で指導資格の有無を確認できるようにしてみたいかがででしょうか。 提案ページ案： <a href="https://docbase.io/file_attachments/140b4c77-8379-4d90-85aa-7600c90818a6.pdf">https://docbase.io/file_attachments/140b4c77-8379-4d90-85aa-7600c90818a6.pdf</a>
回答	採用する。※ 但し、下記の箇所を変更する [変更前] 兼任:JMECC <u>ディレクター</u> 有資格者がアシスタントインストラクターを兼任又はアシスタントインストラクターとして参加することはできません。 [変更後] 兼任:JMECC <b>インストラクター</b> 有資格者がアシスタントインストラクターを兼任又は アシスタントインストラクターとして参加することはできません。

### 2. 語句の追記

コメント	「学習の手引き」と同じように呼吸と脈拍の確認 の部分に（10 秒以内）を追記した方が良いと思います。
回答	指導要綱の指導項目のため、あえて説明内容を入れておりません。

### 3. 語句の追記

コメント	医療機関内での急変時対応、且つ受講者を医師と想定しているため、たとえ一次救命処置の実習であっても、要請する除細動器を AED に限定しなくても良いのではないのでしょうか。 例:AED 要請→AED(除細動器) 要請
回答	この段階(シナリオ)では除細動器の講習を行っていないため、ここでは AED という表記とする。

#### 4. 語句の追記およびスライドの追加

コメント	厚労省から内科学会に「ショックボタンを有さない自動体外式除細動器（オートショック AED）使用時の注意点に関する情報提供の徹底について」という通達があったことから、オートショック AED について指導要綱への追記とスライドを追加する。 スライド案： <a href="https://docbase.io/file_attachments/83377cdb-327f-4ab2-8c92-d5993d82f644.pdf">https://docbase.io/file_attachments/83377cdb-327f-4ab2-8c92-d5993d82f644.pdf</a>
回答	下記の通り、パブリックコメント(変更案)を採用する。 提案スライドについては、オートショック AED ログに関する情報を「学習の手引き」等に記載する。

頁	パブリックコメント(変更案)	現行(改訂版)
9	<p>■CPR</p> <p><input type="checkbox"/> 安全と感染防御の確認</p> <p><input type="checkbox"/> 呼吸と脈拍の確認</p> <p><input type="checkbox"/> 胸骨圧迫と人工呼吸</p> <p><input type="checkbox"/> 胸骨圧迫の中断時間は最小限</p> <p>■AED</p> <p><input type="checkbox"/> 使用方法（電源－パッド装着－心電図解析－電気ショック）</p> <p>※オートショック AED の場合は電気ショックボタンを押さずとも自動で電気ショックが流れます(参考:学習のてびき ○○)。</p>	<p>■CPR</p> <p><input type="checkbox"/> 安全と感染防御の確認</p> <p><input type="checkbox"/> 呼吸と脈拍の確認</p> <p><input type="checkbox"/> 胸骨圧迫と人工呼吸</p> <p><input type="checkbox"/> 胸骨圧迫の中断時間は最小限</p> <p>■AED</p> <p><input type="checkbox"/> 使用方法（電源－パッド装着－心電図解析－電気ショック）</p>

#### 5. 語句の追記

コメント	JRC 蘇生ガイドライン 2020 では、成人および 1 歳以上の小児に対しては、まず背部叩打法を行うよう推奨されているため、まず背部叩打法を実施するような指導をすべきと考えます。 追加案「まず背部叩打法を行い、異物が除去できなかつた場合は、腹部突き上げ法を行う。」
回答	下記の通り、パブリックコメント(変更案)を参考に試験問題(解答と解説)の文言を採用する。

頁	パブリックコメント(変更案)	現行(改訂版)
16	<p>2) 気道異物除去</p> <p>解説:</p> <p><input type="checkbox"/> 意識のある窒息患者に対する背部叩打法、腹部突き上げ法について解説する。</p> <p>1. 咳をうながす</p> <p>2. 背部叩打法を行う</p> <p>3. 腹部突き上げ法を行う</p> <p>・異物が出るか反応が消失するまで継続する。</p> <p>・異物が喀出されても医療機関を受診させる。</p> <p>・反応が消失した場合は、直ちに一次救命処置を行う。</p>	<p>2) 気道異物除去</p> <p>解説:</p> <p><input type="checkbox"/> 意識のある窒息患者に対する背部叩打法、腹部突き上げ法について解説する。</p> <p>・異物が出るか反応が消失するまで継続する。</p> <p>・異物が喀出されても医療機関を受診させる。</p> <p>・反応が消失した場合は、直ちに一次救命処置を行う。</p>

## 6. 語句の修正

コメント	日本中毒情報センターについて、正しい組織表記にすべきだと思います。
回答	下記の通り、パブリックコメント(変更案)を採用する。

頁	パブリックコメント(変更案)	現行(改訂版)
49	<p>①映像視聴:映像 Case #4</p> <p>○設問 1:意識障害の原因は? 答:AIUEOTIPS</p> <p>○設問 2:薬剤の注意点は? 答:QT (QTc) 延長</p> <p>【補足】日本中毒情報センター(中毒 110 番)を利用する。</p> <p>②シナリオ実習:Scenario #4 指導ポイント:意識障害鑑別+三環系抗うつ薬での不整脈合併症</p>	<p>①映像視聴:映像 Case #4</p> <p>○設問 1:意識障害の原因は? 答:AIUEOTIPS</p> <p>○設問 2:薬剤の注意点は? 答:QT (QTc) 延長</p> <p>【補足】<u>日本中毒センター</u>を利用する。</p> <p>②シナリオ実習:Scenario #4 指導ポイント:意識障害鑑別+三環系抗うつ薬での不整脈合併症</p>

## 7. 語句の修正(統一)

コメント	<p>筆記試験・閉会式 ディレクターも、開催ディレクター と「開催」を付けた方が誤解は少ないのではないのでしょうか。</p> <p>ここだけディレクターだと、ディレクター資格のある開催ディレクター以外のディレクターが代行してもよいというふうにつえられるかもしれません。</p>
回答	下記の通り、パブリックコメント(変更案)を採用する。

頁	パブリックコメント(変更案)	現行(改訂版)
30	内科救急総論 (20分~30分) <b>開催ディレクター</b> が実施	内科救急総論 (20分~30分) <u>Director</u> が実施
60	筆記試験 (20分) <b>開催</b> ディレクターが実施 閉会式 (10分) <b>開催</b> ディレクターが実施	筆記試験 (20分) <u>ディレクター</u> が実施 閉会式 (10分) <u>ディレクター</u> が実施

## ○ JMECC 通常コース「スライド」

### 8. 語句の追記

コメント	修了証は大切に保管してください。紛失にご注意ください。 の部分で具体的にしたい行動を記載しておく問い合わせが減少すると思われます。 紙媒体だと紛失しやすいので、修了証を本日写真撮影したり、コース番号を転記しておくなどして、紛失にご注意ください、など。
回答	パブリックコメント(変更案)を採用し、スライドを下記の通り修正する。 スライド(修正後): <a href="https://docbase.io/file_attachments/b9f27728-2cb7-4589-9e28-25d1b71f5371.pdf">https://docbase.io/file_attachments/b9f27728-2cb7-4589-9e28-25d1b71f5371.pdf</a>

## ○ JMECC 通常コース「その他」

### 9. ご要望

コメント	気管超音波検査のエコー像がどこかで供覧できるとありがたいです。
回答	ガイドラインでは入っているが、時間の関係で供覧は難しいため、今回は見送りとする。

### 10. ご要望(スライド追加案)

コメント	1点、スライドの追加についてご提案させていただきたく思います。 COVID-19 蔓延下での救急蘇生法についてです。 CoSTR でも JRC でも COVID-19 対応救急蘇生法について記載があります。 JMECC 指導の中でも口頭で伝える事はあるのですが、指導内容を均一化するために、スライドで1枚でも入れておくのは如何でしょうか。 個人的には医療用 COVID-19 対応救命処置の要点の画像を改変したようなものでも良いかと思えます。
回答	『内科救急診療指針 2022』の付録に、「COVID-19 対応医療用 BLS アルゴリズム」と「COVID-19 対応心停止アルゴリズム」を掲載しているので、時間に余裕がある場合はディレクターの判断で使用する。 ※付録は教材改訂時にディレクター専用ページに公開します。

## ○ JMECC 指導者講習会「指導要綱」

### 11. 用語の統一

コメント	・「マニュアル式除細動器」と「マニュアル除細動器」が混在しておりどちらかへの統一が望ましい。 ・ICLS コースガイドブックに標記を合わせるならば「マニュアル除細動器」となります。
回答	『内科救急診療指針 2022』に合わせて、「マニュアル除細動器」に統一する。

### 12. 用語の統一

コメント	・「シミュレーター機能付きマネキン」と「患者シミュレーター」が混在している。 「マネキン」という記載に違和感を感じる。「マネキン」は「専門的な商品知識及び宣伝技能を有し、店頭、展示会等において相対する顧客の購買意欲をそそり、販売の促進に資するために各種商品の説明、実演等の宣伝の業務を行う者」との定義があり、原則として商業用に使われる呼称です。一般的にはシミュレーターとするのが適切ではないかと考えます。
回答	「患者シミュレーター」に統一する。

### 13. 用語の統一

コメント	・「指導ポイント」と「指導のポイント」が混在しておりどちらかへの統一が望ましい。 ・「重要ポイント」が「指導のポイント」のことを指しているのであれば、統一が望ましい。
回答	・「指導のポイント」は講習会で扱う“パウチ”を指す。従って、「指導ポイント」とは意味合いが異なるため、そのままとする。 ・「常用ポイント」は「指導のポイント」(パウチ)を指すものなので、「指導のポイント」に統一する。 ・「指導のポイント」(←パウチ)は「指導ポイント」と区別をつけるために『指導のポイント』と表記する。

### 14. 用語の統一

コメント	「輸液セット」と「点滴セット」が混在しておりどちらかへの統一が望ましい。
回答	全て「輸液セット」に統一する。

### 15. 用語の統一

コメント	「資器材」と「資機材」が混在しておりどちらかへの統一が望ましい。
回答	全て「資器材」に統一する。

## 16. 語句の追記

コメント	<p>「準備するもの」の記載が必要と思います。</p> <p>シミュレーター以外は、後述されている「気管挿管セット」としてまとめても良いかもしれません。</p> <p>(例)</p> <p>○準備するもの</p> <p>□ シミュレーター(または気道管理用マネキン) □ スタイレット</p> <p>□ 喉頭鏡(ライト点灯の確認は必須) □ カフ用注射器</p> <p>□ 気管チューブ選択(内径:男性 8/8.5 mm, 女性 7/7.5 mm)</p> <p>□ カフ損傷の有無の確認 □ チューブ固定器具(テープ固定の場合はバイトブロックを用意)</p> <p>□ 聴診器 □ 吸引器具 □ 気管チューブ位置確認器具(カプノグラフィ)</p> <p>□ 枕(タオルを丸めて) □ 潤滑ゼリー</p>
回答	<p>「準備するもの」に関しては、コースガイドブックにも記載されているので、指導要綱に記載することは見送る。</p>

## 17. 語句の修正

コメント	通常コース指導要綱に合わせるのであれば「□気道異物除去」の記載の方が良いと思います。
回答	下記の通り、パブリックコメント(変更案)を採用する。

頁	パブリックコメント(変更案)	現行(改訂版)
10	<p>○ 進行(指導要綱参照)</p> <p>□ <b>気道異物除去</b></p>	<p>○ 進行(指導要綱参照)</p> <p>□ <u>気道異物</u></p>

## 18. 語句の修正

コメント	<p>ICLS コースガイドブックに合わせるのであれば、「酸素投与」の記載の方が良いと思います。</p> <p>なお、JMECC 指導要綱では、「酸素投与方法」(JMECC 指導要綱 p.17)となっており、標記が混在しています。</p>
回答	通常コース指導要綱に記載のある「酸素投与方法」で統一する。

## 19. 語句の修正

コメント	<p>下顎を挙上することは、喉頭展開の「コツ」ではあるかもしれませんが、喉頭展開そのものを指すわけではないと思います。</p> <p>(例)① 喉頭展開・・・喉頭展開とは?・・・喉頭蓋を持ち上げて声門を確認すること。</p>
回答	全体の流れを鑑み、下記の通り修正する。

頁	パブリックコメント(変更案)	現行(改訂版)
10	<p>3. AB の異常への対応について</p> <p>気管挿管</p> <p>① <b>体勢を整える(スニッフingポジション)。</b></p>	<p>3. AB の異常への対応について</p> <p>気管挿管</p> <p>① 喉頭展開・・・喉頭展開とは?・・・<u>下顎を挙上</u>すること。</p>

## 20. 語句の修正

コメント	「セミファラー状態」というよりは、「セミファラー位」という標記が一般的かと思います。
回答	下記の通り、パブリックコメント(変更案)を採用する。

頁	パブリックコメント(変更案)	現行(改訂版)
11	⑥ 喉頭鏡で下顎を挙上して、喉頭を確認する。 4) 低身長のため重心を落とせない場合には、挿管マネキンを高い位置にするか、セミファラー位にすればよい。	⑥ 喉頭鏡で下顎を挙上して、喉頭を確認する。 4) 低身長のため重心を落とせない場合には、挿管マネキンを高い位置にするか、セミファラー状態にすればよい。

## 21. タイトルの変更

コメント	「パソコン、モニター、部屋の準備方法と取り扱い」のタイトルについて、実際はマネキン(BLS用)、AEDトレーナー、シミュレーターも準備していますが、ページタイトル内に含まれていません。すべて含めると煩雑になりそうなので、「シミュレーター、パソコン、モニター、部屋の準備方法と取り扱い」とページタイトルを変更するのはいかがでしょうか。
回答	下記の通り、変更する。

頁	パブリックコメント(変更案)	現行(改訂版)
8	コース運営のための準備方法と資器材の取り扱い	パソコン、モニター、部屋の準備方法と取り扱い

## ○ JMECC 指導者講習会「スライド」

## 22. 語句の修正

コメント	スライド「突然の心停止に対する最初の10分間のチーム蘇生ができる」について、この文章の上に、「日本救急医学会認定 ICLS 講習会」という文章がないと意味がわからないスライドになっています。「JMECC 通常コーススライド p.3」のスライドを指導者講習会用に改変したものだと思いますが、「日本救急医学会認定 ICLS 講習会」の文章が、「JMECC 指導者講習会によこそ」という文章に置き換わるのは良いと思いますが、そのまま「日本救急医学会認定 ICLS 講習会」が抜けてしまい、唐突に「突然の心停止に対する最初の10分間のチーム蘇生ができる。」という文章が続いてしまっています。
回答	下記の通り、パブリックコメント(変更案)を採用する。

頁	パブリックコメント(変更案)	現行(改訂版)
5	「日本救急医学会認定 ICLS 講習会」 突然の心停止に対する最初の10分間のチーム蘇生ができる。	JMECC 指導者講習会によこそ 突然の心停止に対する最初の10分間のチーム蘇生ができる。